

## オイスカ中部日本研修センター設立50周年記念 寄稿文



私はインドネシアのハルソノと申します。

1996年にオイスカ中部日本研修センターの農業一般コースで1年間研修をし、1999年に、OB研修生としてオイスカ中部日本研修センターへ2度目の研修に来ました。1996年に初めてオイスカに来てから21年が経ち、今は日本人の女性と結婚して愛知県一宮市で2006年から家族と共に住んでいます。子供も二人います。

日本の文化や技術の素晴らしさに興味を持ち、現在は造園会社に勤め、緑の大切さや人に喜ばれる仕事にやりがいを感じています。昨年は念願だった造園技能検定一級を取得することが出来ました。

1996年にオイスカ中部日本研修センターで始めて日本語と稲作や野菜や果実など、農業有機栽培を研修しました。肥料、土壌、農業の必要性等さまざまな事を学びました。それ以外にも日本文化、生活習慣など親切な先生やホームステイ先のお父さん、お母さん、たくさんの人たちと交流しながら学ぶことが出来ました。

インドネシアへ帰国してからは、オイスカ・カラングニアル研修センターで日本で学んだ事を後輩たちに教えながら、自分の村で両親の田んぼを手伝いながら村の農家があまり植えない野菜、果物を植えました。その当時は、村の農家の人たちは稲作しか作りませんでした。新しい物を持ち込むことは逆風がありました。でも、日本で学んだ事を農家の人たちに教えたかったので、情熱を持って取り込んだ結果、皆から理解してもらうことが出来ました。それから、村では稲作だけではなく、野菜や果物も作るようになりました。

1999年にオイスカ中部日本研修センターで再研修の機会をいただき、先輩として後輩に教えながら自分も、もっともっと向上心を持って色々な事を学ぶ事が出来ました。帰国してから、オイスカの西ジャワ州のスカブミ研修センターで農場長として、研修生だけでなく研修センターのスタッフの指導や畑の管理までやらなければなりませんでした。大変でしたが、研修生と他のスタッフと共に色々な事を学ぶ事が出来て楽しかったです。いつも、どこにいても、オイスカで学んだことを忘れずに家族や周りの人々の役に立つことを頑張っていきたいと思います。

オイスカ中部日本研修センター設立50周年について、元研修生そしてオイスカ会員として心からお祝いを申し上げます。

オイスカ・カラングニアル研修センターから始まり、日本でのオイスカ中部日本研修センターは人生を変えてくれた場所です。オイスカ中部日本研修センターのおかげで今の私があります。一生忘れません。感謝しています。

I LOVE GREEN, I LOVE OISCA, OISCA JAYA (ばんざい インドネシア語) .